

平成 29 年 6 月 23 日

## 平成 29 年度第 1 回継続的改善のための IR/IE セミナーの開催について

九州大学基幹教育院 次世代型大学教育開発センター  
大学評価コンソーシアム

### 1. はじめに

我が国の高等教育機関には、教育の内部質保証システム構築による継続的改善が求められています。学内における継続的改善を支援し機能させるためのツールとして IR や学修成果アセスメントなどの導入も進んでいますが、各現場ではまだ解決できない課題が少なくない上に、改善の取組が有機的に関連付けられ組織的に実施されるまでには至らず、単発の改善にとどまっていることが多いようです。高等教育機関における継続的改善の実施のために、実際、何をどのようにすべきなのか、という「問い」に対して、今回オンデマンド型勉強会形式でのセミナーを企画しました。

今回のセミナーは文部科学省から教育関係共同利用拠点として認定を受けた九州大学（次世代型大学教育開発拠点）および、全国の大学評価・IR 担当者が個人で加入する任意団体である大学評価コンソーシアムの主催で、九州大学伊都キャンパスを会場に開催します。今回は、1 日目「IR 人材の在り方について考える」、2 日目「質保証とカリキュラム・マネジメント」のそれぞれのテーマでセッションを用意しました。各セッションは、テーマに沿った講義もしくは事例報告、当日の話題だけでなくテーマ全体への Q&A、それらを踏まえたグループ討議からなります。Q&A は、IR や評価の現場担当者を中心に構成する本セミナースタッフが、当日すべてのご質問・コメントにお答えする予定です。

このように「継続的改善のための IR/IE セミナー」は、評価、IR、質保証などを担う人材の育成を目指すセミナーであると同時に、参加者、運営者、主催者が共に作っていく勉強会です。お持ちの課題の解決を図りたい方や、我が国の高等教育を受けるすべての学生のために高等教育の改善について共に考えていきたい方は、ぜひご参加ください。

### 2. 日時

平成 29 年 7 月 20 日（木）13：30～18：00（情報交換会 18：10～19：30）

21 日（金）10：00～15：30

※情報交換会（会費 2,000 円：ノンアルコール・簡易立食形式）は参加任意です。

※2 セッションのうち片方のセッションのみへの参加も可能です。

### 3. 会場

・各セッション：九州大学 伊都キャンパス センター 2 号館 2307 号室

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

（福岡市西区元岡 744）

・情報交換会：九州大学 伊都キャンパス ビッグオレンジ

#### 4. 定員と対象

- ・各セッションの定員は 80 名とします。(任意のセッションのみのご参加も可能です。)
- ・教育の質保証、IR、アセスメントなどにご興味を持つ、高等教育機関の方およびそれらに関連する団体、企業のみなさまのうち、当日の講義や事例報告、今回のテーマ全体への質問・コメント等の提出にご協力いただける方を対象としています。

#### 5. セミナー全体のスケジュール

日程	時間	内容
1 日目 7 月 20 日 (木)	13 : 00	開場
	13 : 30 - 13 : 40	主催者挨拶・趣旨説明
	13 : 40 - 18 : 00	セッション 1 「IR 人材の在り方について考える」
	18 : 10 - 19 : 30	情報交換会 (任意 : 会費制)
2 日目 7 月 21 日 (金)	9 : 30	開場
	10 : 00 - 11 : 40	セッション 2 「質保証とカリキュラム・マネジメント」 (前半)
	11 : 40 - 13 : 00	休憩
	13 : 00 - 15 : 20	セッション 2 「質保証とカリキュラム・マネジメント」 (後半)
	15 : 20 - 15 : 25	まとめ
	15 : 30	閉会

- ・各セッションは、講義・事例報告 2～3 件 (各 25 分・質疑応答 5 分)、セッションのテーマおよび講義・事例報告に対する質疑応答 (90 分) およびグループ討議 (35 分) からなります。
- ・各セッション内の時間配分は、みなさんからお寄せいただく質問等の量により調整します。
- ・グループ討議は、セッションの内容整理、情報交換やお持ちの課題のヒントの収集を目的とするもので、みなさんには事前準備の必要はありません。

#### 6. 参加費と配付資料

- ・参加費は徴収しません (教育関係共同利用拠点事業経費および科学研究費補助金による)。
- ・情報交換会は参加任意で、会費 2,000 円です。事前にお申し込みください。
- ・当日の資料については、7 月 17 日 (月) 16 時 (予定) から web サイト (下記「8. 申し込み方法・資料配付方法」を参照) において配布しますので、各自でダウンロードの上、ご覧ください (必要に応じて印刷してください)。

#### 7. セッションのテーマと内容 (タイムテーブル)

○7 月 20 日 (木) [13:00 開場]

13:30 - 13:40 開催校挨拶、全体趣旨説明

13:40 - 13:45 セッション趣旨説明

1) IR 人材の在り方について考える [進行 : 小湊卓夫 (九州大学 基幹教育院)]

概要 : このセッションでは、我が国の IR に求められる人材の能力、スキルについて考えます。九州大学、若手職員有志、大学評価コンソーシアムの人材育成活動から見てきた IR 人材に求められるニーズと、提供できる資源について報告をします。みなさまからのご質問に回答しながら

ら、IR人材育成の高度化のために、今後どのようなことが求められるのか、ということをお考えつつ、各人ができることについても触れていきたいとお考えしています。

13:45－14:15 事例報告1：

「IR人材育成研修の課題と展望」

小湊 卓夫（九州大学 基幹教育院）

概要：米国におけるIR人材育成などにも触れつつ、IR人材育成研修の実践結果からの知見について、報告を行い、研修の課題と今後の方向性について報告する。

14:15－14:45 事例報告2：

「職員IR（SIR）フォーラム実践から考えるIR人材養成の手法と課題」

荒木 俊博（淑徳大学 大学改革室）

上畠 洋佑（金沢大学 国際基幹教育院）

概要：有志の若手教職員で、平成28年にIRを担当する職員を対象に問題解決や能力養成を図る取組みを行った。その事例報告やIR人材や能力養成の場における課題について報告を行う。

14:45－15:15 事例報告3：

「大学評価コンソーシアムによる評価・IR人材育成活動について」

寫田 敏行（茨城大学 全学教育機構）

藤井 都百（九州大学 インスティテューショナル・リサーチ室）

大野 賢一（鳥取大学 大学評価室）

概要：大学評価コンソーシアムのIR人材ループリックについて紹介しつつ、大学評価・IR担当者集会（IR担当者が課題を持ち寄りその解決に向けて他の参加者と議論を行う実践セッションなどの取組み結果）やIR実務担当者連絡会（主として中級者向けの実践事例勉強会）から得られた知見について報告したい。

（15:15－15:35 休憩／質問・感想票記入）

15:35－17:05 質問紙を用いた質疑応答および総合討論

・話題提供者および当該分野に明るい本セミナースタッフ2，3名が全ての質問に回答します。  
なお、ご質問やコメントは、セッションのテーマに沿っているものであれば、事例報告の内容に限らず受け付けます。

（17:05－17:15 休憩）

17:15－17:50 グループ討議

・本日の事例報告や質疑応答を踏まえ、ご自身の抱える課題等について意見交換をしてください。

17:50－17:55 まとめ

17:55－18:00 アンケート記入

18:10－19:40 情報交換会（任意参加：有料）

○7月21日（金）[9:30 開場]

10:00－10:10 セッション趣旨説明

2) 質保証とカリキュラム・マネジメント [進行：寫田敏行（茨城大学 全学教育機構）]

概要：教育の内部質保証システムの構築のために認証評価機関などが示すガイドラインやハンドブックがある。何をどのようにすれば、教育の質の担保やその継続的改善が図られるのか実践事例を用いて読み解いてみたい。また、システムという「枠組み」だけでなく、それらの仕組みを運用するために求められる人材についても考えていきたい。

10:10－10:40 事例報告 1：

「カリキュラム・コーディネーターの役割と教育の質保証」

小湊卓夫（九州大学 基幹教育院）

概要：質保証およびそれを支援する人材に関する欧米の動きを概括しつつ、我が国におけるカリキュラム・マネジメントの現状と課題について整理をおこなう。またカリキュラム・マネジメントの支援人材の在り方について報告する。

10:40－11:10 事例報告 2：

「事例をもとに内部質保証のガイドラインを読み解く」

寫田 敏行（茨城大学 全学教育機構）

概要：大学改革支援・学位授与機構が示す内部質保証システムのガイドラインを素材に、教育活動の有効性をどのように検証し、内部質保証をシステムとしてどのように現場で実践的に展開すればよいのかについて大学教育再生加速プログラムの支援を受けて進めている茨城大学の事例をもとに報告したい。

11:10－11:40 事例報告 3：

「教育プログラムの検証の諸相～大学基準協会編『内部質保証ハンドブック』から」

山本幸一（明治大学）

概要：大学基準協会の第3期大学評価（認証評価）は、教育プログラム単位の検証を前提とした全学的観点での評価を求めている。同協会の『内部質保証ハンドブック』の編集にあたり、各大学の質保証の取組みを調査・分析した結果のうち、教育プログラムの検証方法に焦点をあて、継続的改善への効果を考えたい。

（11:40－13:00 休憩／質問・感想票記入）

13:00－14:30 質問紙を用いた質疑応答および総合討論

・話題提供者および当該分野に明るい本セミナースタッフ2，3名が全ての質問に回答します。  
なお、ご質問やコメントは、セッションのテーマに沿っていけばよく、事例報告の内容に限らないものでも受け付けます。

（14:30－14:40 休憩）

14:40－15:15 グループ討議

・本日の事例報告や質疑応答を踏まえ、ご自身の抱える課題等について意見交換をしてください。

15:15－15:20 まとめ

15:20－15:25 全体まとめ

15:25－15:30 アンケート用紙記入

## 8. 申し込み方法・資料配付方法

受付担当である茨城大学（寫田）の web サイトからお申し込みください。昨年度の IR/IE セミ

ナーや IR 初級人材育成研修などにご参加経験のある方は、メールアドレスとパスワードでログインが可能です。初めての方は「新規登録」画面にお進みください。

<http://ie.iuess.ibaraki.ac.jp/index.php?page=app>

今回は事前に質問をお受けするのではなく、当日お配りする質問・感想票を用いて進める予定です。当日の資料は7月17日（月）16時に公開を開始する予定です。

## 9. 運営について

運営：継続的改善のための IR/IE セミナー運営委員会

荒木俊博（淑徳大学 大学改革室 主任）  
上島洋佑（金沢大学 国際基幹教育院 特任助教）  
大野賢一（鳥取大学 学長室 IR セクション 学長特別補佐（IR 担当））  
岡部康成（帯広畜産大学 大学情報分析室 特任准教授）  
○小湊卓夫（九州大学 基幹教育院 准教授）  
佐藤仁（福岡大学 教育開発支援機構 教学 IR 室長 [人文学部准教授]）  
畠田敏行（茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門（IE オフィス） 准教授）  
白石哲也（清泉女子大学 情報環境センター（IR））  
末次剛健志（佐賀大学 総務部 企画評価課 係長（I R 主担当））  
関隆宏（新潟大学 経営戦略本部評価センター [IR 推進室兼務]）  
橋本智也（四天王寺大学 I R・戦略統合センター 講師）  
藤井都百（九州大学インスティテューショナル・リサーチ室 准教授）  
藤原将人（立命館大学 教学部 学事課 課長補佐）  
山本鉦（九州工業大学 インスティテューショナル・リサーチ室 助教）  
山本幸一（明治大学 教学企画部 評価情報事務室 副参事）ほか

## 10. お問い合わせ先

小湊 卓夫  
九州大学 基幹教育院  
次世代型大学教育開発センター  
kominato@artsci.kyushu-u.ac.jp  
092-802-5835

畠田 敏行  
（大学評価コンソーシアム 副代表幹事）  
茨城大学 全学教育機構（AP 事業室）  
toshiyuki.shimada.ir@vc.ibaraki.ac.jp  
029-228-8252

## 11. 開催について

本セミナーの開催には、以下の経費を用いております。また一部スタッフについては、所属校の経費で参加しております。記して謝意を述べさせていただきます。

文部科学省教育関係共同利用拠点 次世代型大学教育開発拠点（九州大学 基幹教育院 次世代型教育開発センター）

平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）「大学の評価・IR 機能の高度化のための実践知の収集・分析とその活用に関する研究」（課題番号：15H03469、研究代表者：畠田敏行）

